

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

少人数学級の縮小は許さない！ 尾村利成県議先頭に 知事・教育長に申し入れ

県下の党議員団

教育現場の声・地域の声を届ける



藤原孝行副知事に申し入れ

1月8日、尾村利成・大國陽介県議を先頭に県下の党議員団14名は、県知事と県教育長に対して「少人数学級編成の維持・拡充を求める」申し入れを行いました。橘・吉儀・田中の市議員も参加しました。

知事部局は、藤原孝行副知事が対応。松江市が、11月議会に県に対して党派を超えて意見書を提出したこと、少人数学級から人数が増える学級が松江市内でかなりの数に及び、行き届いた教育がなくなる実態を橘祥朗市議が強く



新田英夫県教育長に申し入れ

調しました。出雲市も市長・

県日本共産党女性後援会 大平よしのぶ前衆院議員迎え「新春の集い」

11日、島根県日本共産党女性後援会は、松江市内で「新春の集い」を開催しました。

し、中国地方を駆け回って



あいさつする大平よしのぶ前衆院議員

実感した豪雨災害の政治責任、原爆症で苦しむ人々に対する冷たい国の仕打ちなどを報告。「何としても、衆議院中国ブロックからの議席奪還を」と力強く訴えました。

交流タイムでは、日本共産党が綱領一部改定案で「ジェンダー平等」を位置づけたことに関連して、クイズやコントで、楽しくジェンダーについて学び、最後に女性議員として、吉儀敬子、原田貴代子、上代和美市議会議員が挨拶しました。



街頭宣伝する日本共産党と民主青年同盟

市議団を代表して橘市議は「欧米では、若者が環境破壊を許さないと行動し、香港では自由と民主主義を守ろうと立ち上がっている。美保基地には世界の紛争に介入できる輸送機の配備が進んでいる、平和な未来のために力を合わせよう」と呼びかけました。

民青の田辺副委員長は「若者の未来を拓く政治を実現するために一緒に声を上げよう」と訴えました。

若者の力で希望ある未来を 成人式宣伝 県議、市議団

1月12日(日)、松江市の成人式がくびきメッセで開催され、1729人の新成人が参加しました。成人式に先立って、日本共産党と民主青年同盟が参加者へ激励を込めて会場前において宣伝を行いました。

尾村利成県議、橘祥朗、吉儀敬子、田中肇の松江市議団、岩田剛党東部地区委員長、田辺洋民青同盟副委員長らが参加しました。

尾村県議は、消費増税、憲法改悪、原発再稼働を進める安倍政治に触れ、「桜をみる会やIR誘致をめぐる腐敗した自民党の政治に未来はない、一人一人が行動を起こせば大きな力となって社会と政治を動かすことができる。」と強調。「日本共産党は皆さんと力合わせて希望ある政治を作るために力を尽くす」と述べました。

教育長・市民こぞって反対であることなどの声が寄せられました。

新田英夫県教育庁に対する申し入れでは、田中肇市議が、中学校教師としての経験から、板書ができない子供が出てきたこと、貧困と虐待の問題が表面化してきたことなど、現場は対応に追われており「一度前進した少人数学級を後退させることは汚点を残すことになる。知事に対して教育の専門家の見識を持って意見具申をして欲しい」と要望しました。

尾村利成県議は、子育て支援の財源は、学力テストの中止、250億円もかける北道路の見直し、原発稼働予算の中止で生み出すことができると提案しました。